

彦根市立病院



彦根市立病院

〒522-8539 滋賀県彦根市八坂町1882番地

TEL : 0749-22-6050(代)

問い合わせ先 彦根市立病院 地域医療連携室

TEL : 0749-22-6053 FAX : 0749-22-6093

いつもありがとうございます

## 病院の枠を超えた症例検討会 で救急医療の連携強化を！

救急センター所長

かわべ あつし

川部 篤



日頃より地域連携に御理解、御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

彦根市立病院救急センターは湖東医療圏の救急医療体制の中核を担う基幹病院として、救急車で搬送される患者さんおよび診療時間外に来院された患者さんの対応を365日24時間体制で受け入れています。診療時間外では内科系・外科系1名ずつの日当直に加え各科医師待機制度をとり、薬剤師、放射線技師、臨床検査技師、事務職員も24時間体制を敷いて救急医療を実践しています。年間約17000人の診療をおこない、4800台の救急車を受け入れており、消防からの救急車の受け入れ要請に対する応需率は過去10年以上にわたり99%以上を維持しています。

また湖東医療圏におけるメディカルコントロールの基幹病院としての役割も担っています。救急現場から病院への搬送までのあいだに救急救命士が行う医行為を指示・指導・助言・検証することでそれら医行為の質を保証します。そして救命士の病院実習を行うことにより病院前医療の質の維持、向上を図ります。更に当センターと消防に加え、地域の関連機関と年2回の症例検討会を開催することで、それぞれの立場で救急医療を理解し合い、より一層の協力体制を築けるように努めています。

今回は救急センターと症例検討会についてお伝えさせていただきます。当院は地域の救急医療の要として、皆様の命と健康を守るために尽力しております。今後ともご理解とご協力いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

彦根市立病院 地域医療連携室

業務時間：月～金曜日：午前8時30分～午後7時（但し木曜日は午後5時15分）土曜日：午前9時～午後12時30分

連絡先：地域医療連携室 TEL0749-22-6053(直通) FAX:0749-22-6093

# 救急センターについて

11  
2024

彦根市立病院は、2次救急医療機関病院で、地域に密着した急性期医療を提供しています。2次救急とは病棟への入院相当の患者さんを受け入れる中等度機関になります。

救急車搬送件数は、年間約4500～4800件程度で、彦根消防が出動している救急車の8割弱を当院で受け入れています。救急車を断らないという方針で、彦根消防からの救急車受入れ率は例年99%以上を維持しています。



湖東医療圏における二次救急医療病院は、当院のほかに彦根中央病院、友仁山崎病院、豊郷病院があり、輪番制で救急車の受入れを行っています。その中でも当院は、急性期病院として1年のうちの7割を救急当番日とし、断らない方針で多くの救急車を受け入れています。湖東医療圏には心臓血管外科対象患者さんや、重度熱傷患者さんを受け入れる3次救急病院がなく、当院で対応できないような重症な患者さんが搬送されることもあります。その時は、まず当院で初療を行い、状態を安定化させてから対応可能な病院へ転院搬送を行っています。



## 救急センター科長

救急センターでは患者さんと接する時間は長くはありませんが、緊張感の中にも日々、看護師として提供できるよりよいケアを模索しています。湖東医療圏の救急体制を維持するために、医師や看護師だけでなく、薬剤師、放射線技師、臨床検査技師、受付事務員、臨床工学技士も24時間体制で対応しています。多職種で連携して、救急患者さんの救命に努めています。また、救急診療の継続には地域の皆様のご理解、ご協力が不可欠です。みなさんと協力して、1人でも多くの命を救っていけたらと思います。



安全な救急診療をめざしています





# 症例検討会について

病院内だけでなく、地域の関連施設や関連した方と一緒に、年2回の症例検討会を彦根消防と合同で行なっています。

## 症例検討会

つなぐ、その想い

**議題**  
ひらた1階特設ショートステイ  
管理者 介護福祉士・高橋 義経

**議題**  
彦根市消防署本署  
救急救命士・岩崎 貴大

**議題**  
彦根市立病院  
循環器内科 医師・真鍋 幸雄美

**議題**  
彦根市立病院  
救急看護部・北野 貴司

日時: 2023年 9月29日(土) 17:30～  
場所: 彦根市立病院 3階 講堂

主催: 彦根市立病院救急センター  
共催: 彦根市消防本部、ひらた1階特設ショートステイ

## そのとき あなたは

### 症例検討会

予期せぬ事象への対応

日時: 2023年12月8日(金) 17:30～19:00  
場所: 彦根市立病院 3階講堂  
主催: 彦根市消防本部  
彦根市教育委員会  
佐和山小学校  
彦根市立病院

## 第3回症例検討会

### 未来へ

～私たちがすべきこと～

彦根市立病院 北分科第一 救命救急センター  
彦根市立病院 救急センター  
彦根市立病院 救急看護部  
彦根市立病院 救急看護部 小川 貴子

10代女性の自殺企図の経緯を振り返ると共に、それぞれの  
現場がどのような思いで取り組んでいるのか、抱えている課題  
は何かを共有し、今後の円滑かつ良好な連携へと繋いでい

【日時】2024年9月6日(金) 17:30～19:00  
【場所】彦根市立病院 3階講堂  
【主催】彦根市立病院 救急センター  
【共催】彦根市消防本部  
彦根市福祉保健部障害福祉課

毎回テーマを決め、それぞれの症例に関わった施設や部門、職種ごとに、それぞれの見え方や役割、連携していくために必要なことは何か、それぞれにどのような課題を抱えているのか、などを症例検討会を通して共有し意識を高めていく取り組みを行なっています。

昨年度はショートステイ先での急変症例、小学校での熱中症による集団救急、今年度は10代の自殺企図をテーマに症例検討会を行いました。

それぞれに介護施設の介護福祉士や小学校の校長、教育委員会、彦根市の保健師、警察など、症例ごとに関わる様々な関係者と共に情報共有し、顔の見える関係作りに努めています。

## 出席者の意見

連携の大切さを改めて実感しました。きちんと引き継いだ対応をしていきたいです。

今後、情報共有について課題となることが知れてよかった。

病院以外の警察、学校など普段聞けないことを聞いたことが勉強になりました





## 医療ソーシャルワーカーからの ワンポイントアドバイス

R6年4月に3疾患が増え、現在341の疾患が対象となっています。また、191疾病の診断基準等が改正されるとともに、すべての疾病の臨床調査個人票が改正されました。

### ～シリーズ第3弾 指定難病の医療費助成 について～

医療費助成の対象となる指定難病とは？

難病のうち以下の要件をすべて満たすものとされています

- ・患者数が本邦において一定の人数（人口の0.1%程度）に達しないこと
- ・客観的な診断基準（又はそれに準ずるもの）が確立していること

医療費の助成とは？

医療機関で払う医療費の患者の負担割合が2割となります。70歳以上の人で、2割負担、1割負担の方はそのままの負担割合です。そのうえで、所得に応じて自己負担の上限額があります。

医療費助成の対象となる人は？

病名が該当するだけでは対象とはなりません。①②いずれかに該当する場合に対象となります。

①重症度分類に照らして病状の程度が一定程度以上（疾病により異なりますが中等症以上が多い）

②軽症高額該当・・・①の基準を満たさないものの、月ごとの医療費総額（10割負担額）が33,330円を超える月が年間3月以上ある場合。医療機関と薬局にて証明書の発行が必要です。

難病情報センターご案内より一部引用

# クラウドファンディングにご協力いただきありがとうございました

皆様のあたたかいご支援により目標額に達することができました



## お知らせ

これまで7:30であった  
病院の開門が  
11月1日（金）より  
**8時**となります



彦根市立病院 地域医療連携室では、『地域連携だより』を読んでくださったご意見・ご感想をお待ちしています。  
地域医療連携室メールアドレス: [chiren@hikone-hp.jp](mailto:chiren@hikone-hp.jp) までお寄せください。